

島根県建設産業実態調査

島根県では、建設業を取り巻く経営環境や経営上の課題、今後の経営のあり方に対する取組状況や意向を調査し、今後の建設産業対策の参考とするため、県内建設業者の方々を対象としたアンケート調査を実施しますので、御協力をお願いします。

1. このアンケートは、経営者の方が回答記入してください。
2. 本アンケート調査の結果は、統計的な処理を行い、個別のデータを公表することはありません。
3. 提出方法
回答記入された調査票は、
平成26年12月15日～平成27年2月2日
の間に申請を受け付ける「建設工事入札参加資格審査申請」と同時に提出してください。

【お問い合わせ先】

島根県土木部土木総務課建設産業対策室

TEL : 0852-22-6429

担当 : 伊藤

島根県土木部土木総務課

人札参加資格審査申請と
同時に提出してください。

※ 経営者の方が回答記入してください。

I 企業の属性について (該当する選択肢に○、または数値をご記入ください。)

本店の所在地	1 松江	2 雲南	3 出雲	4 県央	5 浜田	6 益田	7 隠岐	
主たる営業業種 (下記を【業種区分】を参考にして下さい)	1 土木系		2 建築系		3 設備その他		※直近の完成工事高が最も大きい業種を選んで下さい。	
従事者数	従事者数 合計				人			
	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上		
技術者(男性)		人	人	人	人	人	人	人
技術者(女性)		人	人	人	人	人	人	人
技能者(男性)		人	人	人	人	人	人	人
技能者(女性)		人	人	人	人	人	人	人
事務職員(男性)		人	人	人	人	人	人	人
事務職員(女性)		人	人	人	人	人	人	人
※従事者数には、役員を加えた人数を記入してください。								
完成工事高	前 期				前々期			
元 請	公共工事			千円			千円	
	国			千円			千円	
	県			千円			千円	
	市町村			千円			千円	
	その他団体			千円			千円	
	民間工事			千円			千円	
下 請	公共工事			千円			千円	
	国			千円			千円	
	県			千円			千円	
	市町村			千円			千円	
	その他団体			千円			千円	
	民間工事			千円			千円	
合 計			千円			千円		

【業種区分】

土 木 系	土木一式、とび・土工、石、ほ装、しゅんせつ、水道施設の各工事
建 築 系	建築一式、大工、左官、屋根、タイル・レンガ・ブロック、鋼構造物、鉄筋、板金、ガラス、防水、内装、熱絶縁、建具の各工事
設備その他	電気・管など土木系、建築系以外の工事

II 経営環境及び経営上の課題について

(1) 経営環境について、今後どのように変化するとお考えですか。

- 1 さらに厳しくなる 2 現在の状況が続く 3 好転する

(7) 公共事業の発注者(国・県・市町村等)への要望があれば下記からお選び下さい。(複数選択可)

- 1 指名競争入札の拡大 2 総合評価方式の拡大 3 総合評価方式の縮小
- 4 総合評価方式の評価項目の見直し (具体的に)
- 5 ダンピング受注防止対策(低入札調査基準価格、最低制限価格の引き上げ)
- 7 ダンピング対策(歩切りの根絶) 8 元請・下請間の取引適正化の強化
- 9 重層下請構造の是正 10 不良不適格業者の排除 11 地元業者の優先
- 12 発注の平準化 13 適切な工期の設定 14 公共事業予算の安定的・持続的な確保
- 15 公共工事設計労務単価の適切な設定 16 公共工事設計資材単価の適切な設定
- 17 社会保険未加入対策(福利厚生費の確保) 18 社会保険未加入対策(指導監督の強化)
- 19 若手技術者・技能者の確保・育成への支援 20 事業継続計画(BCP)の策定支援
- 21 その他

Ⅲ 新分野進出の状況について

(1) 建設業以外の新分野に現在取り組んでいますか。(一つに○をつけて下さい)

- 1 取り組んでいる 2 取り組んでいない 3 検討中である

(2) 上記(1)で「1取り組んでいる」と回答された伺います。取り組んでいる分野は何ですか。(複数選択可)

- 1 農 業 2 林 業 3 水産業 4 製造業
- 5 飲食業 6 小売業 7 サービス業 8 環境リサイクル
- 9 情報産業 10 観光産業 11 介護・福祉 12 その他

※支障のない範囲で、取り組まれている新分野の内容をご記入ください。

(3) 上記(1)で「2取り組んでいない」と回答された方に伺います。その理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 本業でやっていける 2 資金不足 3 人材不足 4 リスクが大きい
- 5 何をすればいいかわからない 6 その他()

(4) 今後の新分野への取り組みについて伺います。(一つに○を付けてください)

- 1 新分野事業をさらに拡大する 2 新分野事業を現状維持する
- 3 新分野事業から撤退する 4 新分野事業に着手している
- 5 新分野進出を検討中 6 新分野進出は考えていない

(5)新分野進出を行う際に、最も課題になることは何ですか。(複数選択可)

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1 販路開拓 | 2 資金調達 | 3 事業場(用地)の確保 |
| 4 関連情報の入手 | 5 人材の確保・育成 | 6 社内の意識改革 |
| 7 事業計画の策定 | 8 許認可等の規制 | 9 安定した生産量の確保 |
| 10 商品・役務の品質確保 | 11 相談・助言者の確保 | |
| 12 その他() | | |

IV 県が実施する建設産業対策について

(1) 建設産業新分野進出支援事業助成金について

① 県では、新分野進出のための調査研究や販路開拓に対する助成金制度を設けていますが、この助成金制度を知っていますか。

- 1 知っている 2 知らなかった

② 上記の助成金制度を利用されたことがありますか。

- 1 ある 2 ない 3 利用予定

③ 上記の助成金制度は今後も必要と思われますか。

- 1 必要 2 必要ない 3 わからない

④ 助成金制度の対象として今後必要と思われる分野は何ですか。(複数選択可)

- 1 新分野進出 2 担い手確保 3 人材育成 4 新技術・工法の導入
4 その他()

④ 建設産業新分野進出支援助成金について、ご意見・要望があればご記入ください。

(2) 建設産業新分野進出促進事業補助金について

① 県では、新分野進出の事業化に係る設備投資に対する補助金制度を設けていますが、この補助金制度を知っていますか。

- 1 知っている 2 知らなかった

② 上記の補助金制度を利用されたことがありますか。

- 1 ある 2 ない 3 利用予定

③ 上記の補助金制度は今後も必要と思われますか。

- 1 必要 2 必要ない 3 わからない

④ 補助金制度の対象として今後必要と思われる分野は何ですか。（複数選択可）

- 1 新分野進出 2 担い手確保 3 人材育成 4 新技術・工法の導入
4 その他（ ）

④ 建設産業新分野進出促進事業補助金について、ご意見・要望があればご記入ください。

(3) 経営力強化アドバイザー派遣事業について

① 県では、経営革新や新分野進出を検討している建設企業に対して専門家の派遣を行っていますが、この制度を知っていますか。

- 1 知っている 2 知らなかった

② 上記のアドバイザー派遣事業を利用したことがありますか。

- 1 ある 2 ない

③ 上記のアドバイザー派遣事業は今後も必要と思われますか。

- 1 必要 2 必要ない 3 わからない

④ 経営力強化アドバイザー派遣事業について、ご意見・要望等があればご記入ください。

～ ご協力ありがとうございました ～